TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

力の福音　秘儀

エフェソの信徒への手紙 1 章 1 節―10 節

2023 年 7 月 8 日&9 日

余沢 武　牧師

Ⅰ　はじめに

こんにちは。今日、私たちは「エフェソの信徒への手紙」から新しいシリーズ「力の福音」を始めます。「エフェソの信徒への手紙」によると、この手紙は使徒パウロによってエフェソのクリスチャンたち宛てに書かれたものとされています。このことは 1 世紀以来、すべての教会の指導者たちに広く信じられてきました。

17 世紀に、これに疑問を抱く学者たちが現れました。その理由は、

① エフェソの教会を良く知っていたパウロからの個人的な挨拶が抜けている。
② 初期の写本では、「エフェソで」という言葉が書かれていないものがある。
③ コロサイ人への手紙とよく似ている。
④ 使われている「語彙」や「ギリシャスタイル」が他のパウロの手紙では見られない。

それでもなお、内的証拠も状況証拠もパウロが筆者であり、エフェソの信徒が手紙の受け取り手であることをまだ強く示しています。小アジアの他の教会でも読まれることを想定していたのかもしれません。

ポールがこの手紙を宛てて書いたと思われるエフェソは、ローマのアジア地方の主都で、紀元 60-62 ごろからパウロがローマで投獄されている時には、人口は 125,500 から 250,000 人でした。

この手紙は、「神の救いの計画の全容」、「一致することの重要性」、そして「私たちに与えられている力」について明らかにしています。この手紙を見ていく前に、祈りましょう。

Ⅱ　秘義

(1)キリスト・イエスの使徒

エフェソ 1 章 1－2 節を見てみましょう。

[1] 神の御心によってキリスト・イエスの使徒とされたパウロから、エフェソにいるキリスト・イエスを信じる聖なる者たちへ。[2] 私たちの父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平和があなたがたにありますように。

パウロは自分自身を「神の御心によってキリスト・イエスの使徒とされたパウロ」と紹介しています。

ここが言っていることは、彼は個人的にイエス様によって遣わされたということです。そして、パウロが手紙に書いたことは、イエス様から個人的に与えられたものであり、イエス様の権威の下にあるのだということです。

数週間前に、私は TBC のフィリピン人・フェローシップで父の日をお祝いする会に出席しました。とても楽しい時間でした。その会の途中、父親全員が前に立つように招かれました。司会者が、前に立っている父親の一人について紹介文を読みます。

もし、その紹介文が自分だと思った父親は、前に出ます。正解であれば、キャンディの袋詰めが貰えます。もし違っていたら、輪ゴム一つを貰います。

司会者が最初に読んだ紹介文は、「ハンサムな父親」でした。沢山の父親たちが前に出ましたが、彼らは皆、輪ゴムを貰いました。

司会者が読んだ紹介文の中に、「決して怒ったことがない父親」というのがありました。初めはだれも前に出ませんでした。そして、一人の父親が前に進み出ました。どうなったでしょうか？　彼は正解でした。 キャンディの袋詰めを貰っていました。私はすごいと思いました。

どなたがその紹介文を書いたかは知りません。彼の家族かもしれませんし、親しい友人かもしれません。でもこの誰かがこれを書いたということは素晴らしいことです。そして誰かが正しく理解できているということは更に素晴らしいことです。怒ったことがないなんて、信じられますか？ もし彼のことをよく知る人々がそれは本当だ、と言い、そしてもし彼も本当だと言うなら、私は本当だと信じます。

パウロは、イエス様によって、この手紙を私たちに書くために個人的に遣わされた使徒である、と言っています。信じられるでしょうか？　もし彼がそう言っていて、もし彼を知っている人々が

その通りだと言っていて、そして聖書に記されることによって、神がお認めになったのであれば、そうです、私は信じます。パウロがここに書いた全てはイエス様により与えられた真実だと信じます。これがこの手紙からわかることなのです。

(2)定められた養子縁組

3節です。

[3]私たちの主イエス・キリストの父なる神が、ほめたたえられますように。神はキリストにあって、天上で、あらゆる霊の祝福をもって私たちを祝福し、

パウロによると、私たちは「キリストにあって、天上であらゆる霊の祝福(賜物)」をすでに受けています。この手紙全部を読んだら、「天上」というのは、イエス様が父なる神とともに治めている場所だということが分かるはずです。この場所は悪の力が私たちに戦いを挑んでいる場所でもあります。

しかしここでパウロによると、私たちはキリストと共に治めるために、「あらゆる霊の祝福(賜物)」をすでに受けているのです。そして彼は、神はそれゆえに「祝福され」また「たたえられる」のだと言っています！

1952年、ジム・エリオットという若いアメリカ人男性が宣教師として、4人の若者と共にエクアドルに行きました。アマゾン森林に住むワラオニ族に福音を届けるために、ジャングルの奥深くに入っていきました。4年後、5人全員が槍で刺し殺されました。

後に、一人の若者の姉妹と、一人の若者の妻とその子どもが一緒にジャングルに行き宣教を行いました。すると、そのワラオニ族全員がイエス様を信じたのです。私はあるドキュメンタリーで、のちに部族の一人の男がアメリカに招かれ、アメリカのスーパーマーケットで沢山の祝福を享受しているのを見ました。

「ジャングルの中の5体の遺体のイメージ」と「救われたワラニオ族の男のスーパーマーケットでの笑顔のイメージ」の対比によって、神の子イエス様の死という代償の下で私たちが受けている霊的な祝福、が思い起されます。

もちろん、イエス様による霊的な祝福は、スーパーのすべての食べ物よりも遥かに素晴らしいものです。神は、ご自身の息子であるイエス様を十字架の上で私たちの罪の罰を受けるために、私たちに遣わされることで、私たちを祝福されました。

イエス様が罰を受けたのは私たちの罪のためであると受け入れるとき、私たちがイエス様同一になれるのです。イエス様の一部になります。イエス様にあって私たちも罰を受け、イエス様にあって私たちも死にました。

イエス様がよみがえられたとき、イエス様にあって、私たちも、新しい命によみがえりました。

イエス様が天上に昇られ、父なる神と共に支配される時、イエス様にあって、私たちも天上でイエス様と共に支配します。

私たちが天上でイエス様にあるとき、地上にいる私たちの中に聖霊がおられます。聖霊は私たちをイエス様のように変えてくださいます。天上での霊的な現実が、地上での私たちにも反映されるのです。

イエス様が戻られる時、私たちは完全にイエス様のようになるでしょう。そして神の子どもとして、神が持っている全てのものを受けることになるでしょう。

パウロは、「私たちの主イエス・キリストの父なる神が、ほめたたえられますように。神はキリストにあって、天上で、あらゆる霊の祝福をもって私たちを祝福し」、と述べています。

パウロによると、これは全て神の計画でした。**4節から6節**です。

[4]天地創造の前に、キリストにあって私たちをお選びになりました。私たちが愛の内に御前で聖なる、傷のない者となるためです。[5]御心の良しとされるままに、私たちをイエス・キリストによってご自分の子にしようと、前もってお定めになったのです。[6]それは、神がその愛する御子によって与えてくださった恵みの栄光を、私たちがほめたたえるためです。

世界の創造の前から、神が「光あれ」と言われる前から、私たちを創造されることを知っていたのです。また、神は私たちがどんなに罪深くなるかをご存じでした。しかし、神は私たちを御子イエス様の中に置くという計画を立てていました。このように、イエス様を通して私たちは神の養子となることができるのです。

(3)贖い

[7]私たちはこの御子において、その血による贖い、すなわち罪の赦しを得ているのです。これは、神の豊かな恵みによるものです。[8] 神は、この恵み

を私たちの上に溢れさせ、あらゆる知恵と思慮深さをもって、
この養子縁組は「その血による贖い」を通して実現されました。ローマ帝国では、人々が拉致され奴隷として売られていました。指定された支払、つまり身代金を支払うと、その奴隷は買い戻され再び自由の身となるのです。
私たちの場合、私たちはサタンの嘘によってさらわれ、皆「罪の奴隷」になりました。
イエス様が身代金を支払って… 十字架の上で私たちの罪の罰のために死なれることによって… 私たちは赦され、買い戻され、自由です。
さらに、神は、イエス様にあって、私たちを神の子どもとして養子縁組されたのです。
まだ続きがあります。**9－10節**です。**[9]御心の秘義を私たちに知らせてくださいました。これは、前もってご自身でお決めになっていた御心によるものであって、[10]時が満ちるというご計画のためです。それは、天にあるものも地にあるものも、あらゆるものが、キリストのもとに一つにまとめられることです。**
ここで、パウロは福音の全容、つまり「御心の秘義」を明らかにしています。「秘義」とは、理解が及ばないことではなく、まだ明らかになっていないことを指します。今、イエス様により遣わされた使徒により、それが私たちに明らかにされました。神の計画の最終的なゴールは、
「天にあるものも地にあるものも、あらゆるものが、キリストのもとに一つにまとめられることです」
私たちがキリストにあって死に、キリストにあってよみがえり、キリストにあって生き、キリストのようになる時、私たちに一致がもたらされ、お互いにどんどん近くなり、---最終的には一つにまとめられます。
事実、全ての被造物に、キリストにあって、完全な調和と一致がもたらされます。
全て天国にあるものも、全ての霊的な存在は、キリストに完全に従います。
これが御心の「秘義」---神の救済の範囲なのです。この手紙を通してパウロは、私たちはキリストにあって、どのように互いに調和をもたらすべきかを教えています。たとえ地上の他人や天の悪しき力から受ける試練があったとしても、です。神の御計画はただ私やあなたを変えることだけではありません。もちろんそれもご計画の一つですが、それだけではありません。私たちが全員キリストにあって成長し、全てのものがキリストにあって調和するようになることなのです。
だからこそ、私たちはこのように問うべきではなりません：「私は成長しているのだろうか？」「私は愛に溢れた人だろうか？」
私たちが問うべきは：「私は他の人々とともに成長しているだろうか？」「私は他の人々への愛を育てているだろうか？」ということなのです。

スポーツには２タイプあります。
① 「個人競技」一番技術がある選手が最も優れた選手となり、もっとも技術が優れた人たちが優勝者となります。テニスやレスリング等が、これに当てはまります。
②「団体競技」最も技術がある選手が最も優れた選手になるとは限らない、最も優れた技術を持つ選手たちが優勝しないかもしれません。ただ上手なだけはなく、他の皆を上手くすることもできる、そんな選手が最も優れた選手であり、優勝することができるのです。フットボールやサッカー等、チームスポーツがこれに当てはまります。
キリスト教とは、チームスポーツのようなものです。自分を愛し、自分を一番にしようとするものではありません。
他者を愛し、他者を一番にしようとすることなのです。そうしている間に私たちは成長し、神に仕えるのです。これも、成長するために私たちが教会に物理的に来る必要がある理由です。

私たちは互いに愛の中で成長しているでしょうか？キリストにあって調和の中でともに成長しているでしょうか？この学びを通して、私たちがキリストにあってともに成長していくことができるよう祈っています。

祈りましょう。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg2823jp

★クラス 402
キリストの伝え方
7 月 15 日（土）13:30～17:30
参加条件: クラス 101 を修了した方

★クラス 101
教会員（TBC メンバー）になるためのクラス
9 月 9 日（土）13:30～17:30
参加条件: どなたでも
https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

1. 日本語字幕オペレーター
   月 1～各礼拝の時間の日本語字幕のページを矢印キーを押してめくる作業。コンピュータースキルはいりません。
   スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

2. 日本語訳字幕作成
   月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。Mac でプロプレゼンターというソフトで作成しますが、1, 2 回のトレーニングで簡単に覚えられます。作成後、土曜日 19 時の礼拝の日本語訳字幕オペレーターもお願いしています。
   スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

3. 週末礼拝メッセージ翻訳
   1 か月半に 1 度くらいのペース
   自宅での作業になります。
   英語のメッセージ原稿を日本語に翻訳します。
   スキル：英語と日本語が堪能な方

*TBC の教会員であることが必須です。

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org